

# 令和5年度(第50回) 北海道地区 トラックドライバー・コンテスト学科競技 問題用紙

(競技時間:60分間)

会場：札幌市手稲区曙5条4丁目「札幌運転免許試験場」

注意事項	携帯電話等の電源を「オフ」にする！！
<p>① 解答はすべて別紙の<u>解答用紙</u>（マークシート方式）に記入すること。</p> <p>② 解答用紙（マークシート方式）は、鉛筆を使用して必要な箇所にマークすること。 なお、誤ってマークした場合は、跡の残らないように消しゴムで消すこと。</p> <p>③ 開始前に必ず解答用紙の<u>該当部門を○で囲み、番号、氏名を記載すること。</u> この問題用紙は、競技開始の合図があるまで開かないこと。</p> <p>④ 問題用紙を一通り見て、印刷の不鮮明なところがあれば挙手をして係員に申し出ること。</p> <p>⑤ 問題用紙に、メモ等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は選手がそのまま持ち帰ること。</p> <p>⑥ <u>試験開始45分経過後</u>より退出してよいが、解答用紙は机上に伏せて、他の選手の妨げにならないよう静かに退出すること。一度退出したら再入室は認めない。</p> <p>⑦ 競技時間については、<u>競技終了10分前と5分前に終了を予告</u>する。</p> <p>⑧ 落とした筆記記具の拾得等、競技時間中に何らかの問題が生じた場合は、挙手をして係員に申し出ること。</p> <p>⑨ 競技問題は、Ⅰ 法規及びⅡ 構造機能等に<u>4肢択一問題</u>があることに注意すること。</p>	



# I 法規（40問）

## 【4 肢択一式問題】

問1. 徐行に関する記述のうち、正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する番号の欄にマークを付けなさい。

- 1 歩道と車道の区別のない道路を通行する場合その他の場合において、歩行者の側方通過時に安全な間隔が取れないときは徐行して進行する。
- 2 勾配の急な上り坂や下り坂では徐行して進行する。
- 3 優先道路を通行している場合でも、左右の見通しがきかない交差点では徐行して進行する。
- 4 道路外の施設又は場所に入出入りするためやむを得ず歩道等を横断するときは、歩道等に入る直前から徐行して、歩行者の通行を妨げないようにする。

問2. 追越しの禁止に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 標識や表示で追越しが禁止されていない場所でも、道路の左側部分の幅が6メートル以上の道路では、道路の右側部分にはみだして追越しをすることはできない。
- 2 横断歩道とその手前30メートル以内の場所は追越しが禁止されている。
- 3 勾配の急な上り坂や下り坂は追越しが禁止されている。
- 4 道路のまがりかど付近では追越しが禁止されている。

問3. 運転免許に関する次ア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

ア 第一種の運転免許には、大型免許、中型免許、準中型免許、普通免許、大型特殊免許、小型特殊免許、大型二輪免許、普通二輪免許、原付免許、牽引免許がある。

イ 普通免許を取得して1年を経過しなければ準中型免許は取得できない。

ウ 準中型免許は20歳に満たない者は取得できない。

エ 準中型免許を取得すれば、最大積載量5トン未満までのトラックを運転できる。

1. 一つ
2. 二つ
3. 三つ
4. 四つ

問4. 踏切に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

ア 踏切の警報機が鳴り始めたら、遮断機が降り始める前であっても踏切に進入してはならない。

イ 踏切の前方の交通が混乱しているため、踏切内で停止するおそれがあるときは、徐行して進行しなければならない。

ウ 信号機のない踏切を通過しようとするときは、踏切の直前で停止し、かつ、安全であることを確認した後でなければ進行してはならない。

エ 信号機のある踏切で青信号の場合は、一時停止の必要はないが、安全確認は行わなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

【○×正誤式問題】

次の問5から問40までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークをつけなさい。

- 問5. 中型免許で大型自動車を運転した場合は、大型自動車等無資格運転となる。
- 問6. 走行中に携帯電話やスマートフォンなどを手に保持した状態で通話することは禁止されているが、メールの送受信のために画面を注視することは禁止されていない。
- 問7. 自動車は歩道又は路側帯と車道との区別がある道路では、路側帯に歩行者がいなくても、路側帯にはみ出して通行することができない。
- 問8. 見とおしのきかない上り坂の頂上付近では、「警笛鳴らせ」の標識が無い場合でも必ず警音器を鳴らさなければならない。
- 問9. 昼間でも、視界が高速道路では200メートル以下、その他の場所では100メートル以下であるような暗い場所を走行するときは、前照灯などを点灯しなければならない。
- 問10. 警察官は、過積載と認められる車両が運転されているときは、当該車両を停止させ、積載物の重量を測定することができる。
- 問11. 環状交差点で右折や左折をするときは徐行しなければならないが、直進する場合も徐行しなければならない。
- 問12. 車両（緊急自動車を除く。）は、交差点とその付近で緊急自動車が接近してきたときは、交差点内の左側に寄って一時停止し、緊急自動車の通行を妨げないようにする。
- 問13. 車両等の運転者は、ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、かつ、道路、交通及び当該車両等の状況に応じ、他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転しなければならない。

- 問14. 呼気1リットルにつき0.15ミリグラム以上の酒気帯び運転は処罰の対象となるが、それに達しない場合であっても、酒気を帯びて運転してはならない。
- 問15. 信号機のある交差点において、信号機は青信号だったが、警察官の手信号による指示は「停止」だったので、警察官の指示に従って停止した。
- 問16. 貨物自動車に荷物を積んだときは、荷物の見張りのためや、積み下ろしのため、必要な最小限度の人を荷台に乗せて運転することができる。
- 問17. 自動車の乗車定員は、12歳未満については、こども3人で大人2人として計算する。
- 問18. バスの停留所の標示板（標示柱）から10メートル以内は、バスの発着の妨げとなるため、運行時間内に限り駐車禁止である。
- 問19. 故障車をロープでけん引するときは、その間を5メートル以内にし、丈夫なロープの中央に30センチメートル平方以上の白い布をつけなければならない。
- 問20. 6歳のこどもを自動車に同乗させるときは、そのこどもにチャイルドシートを使用させなければならない。
- 問21. 高速自動車国道での大型乗用自動車と大型貨物自動車の最高速度は同じである。
- 問22. この補助標識は、駐車禁止区間を示している。



- 問23. この信号に対する自動車は、右折以外はできない。

青色の灯火の矢印



- 問24. 中型自動車とは、車両総重量7.5トン以上11トン未満、最大積載量4.5トン以上6.5トン未満、乗車定員11人以上29人以下の自動車をいう。

問25. 交通事故の責任は、車の管理が不十分なため、かぎを勝手に持ち出されて事故が起きたときは、車の所有者にも責任がある。

問26. この標識のあるところは、この先の道路の路肩が崩れやすいので注意する。



問27. 安全地帯のそばを通るときは、安全地帯に歩行者がいなくても徐行しなければならない。

問28. 運転者が運転席にいて、同乗者を 10 分待ち続けるのは停車である。

問29. 大型自動車や普通自動車の荷台に積むことができる積み荷の幅の制限は、その車の幅までである。

問30. 前車を追い抜こうとしたところ、前車がそれに気づかず、急に進路を右に変え始めたので、危険を防止するためやむを得ず警音器を鳴らした。

問31. 夜間は交通量が少ないので、同じ場所に引き続き 7 時間駐車してもよい。

問32. 車両総重量 2 トン以下の車両を、その車輛の 3 倍以上の車両総重量の自動車でけん引する場合の最高速度は時速 40 km である。

問33. 車両は、道路の左側部分の幅員が 7m の道路において、他の車両を追い越そうとするとき、道路の中央から右の部分にその全部又は一部をはみ出して通行することができる。

問34. 車両等は、横断歩道等又はその手前の直前で停止している車両等がある場合において、当該停止している車両等の側方を通過してその前方に出ようとするときは、その前方に出る前に一時停止しなければならない。

問35. 車両の運転者が同一方向に進行しながら進路を左方に変えるときの合図を行う時期は、その行為をしようとするときの 30m である。

- 問36. 積載物の高さは、3.8m（公安委員会が道路又は交通の状況により支障がないと認めて定めるものにあつては3.8m以上4.1mを超えない範囲内において公安委員会が定める高さ）から自動車の積載をする場所の高さを減じたものを超えないこと。
- 問37. 転回しようとするときは、その行為をしようとするときの3秒前のときに合図をする。
- 問38. 自動車の長さが10メートルの場合、道路交通法上、積載できる貨物（分割できない貨物）の長さは12メートルまでである。
- 問39. 交通整理の行われていない交差点（環状交差点を除く）で、交差する道路が優先道路であるときや、その幅が広いときは必ず一時停止しなければならない。
- 問40. 交差点において、交通整理中の警察官が腕を垂直に上げているときは、警察官の身体の正面に平行する方向の交通に対しては、黄色の灯火の信号と同じ意味である。

## Ⅱ 構造機能等 (20 問)

問41. 非常信号用具に関する次の記述のうち正しいものはいくつあるか  
解答用紙の該当する欄にマークをつけなさい。

- ア 振動、衝撃等により、損傷を生じ、又は作動するものでないこと。
- イ 夜間 100 メートルの距離から確認できる赤色の灯火を発するものであること。
- ウ 使用に便利な場所に備えられたものであること。
- エ 自発光式のものであること。

- 1、一つ
- 2、二つ
- 3、三つ
- 4、四つ

問42. 道路運送車両の保安基準に関するア～エの記述のうち正しいものはいくつあるか  
解答用紙の該当する欄にマークをつけなさい。

- ア 自動車の幅は、2.2 メートルを超えてはならない。
- イ 自動車の軸重は 10 トン（牽引自動車のうち告示で定めるものにあつては 11.5 トン）を超えてはならない。
- ウ 自動車の輪荷重は 5 トン（牽引自動車のうち告示で定めるものにあつては 5.75 トン）を超えてはならない。
- エ 自動車の最小半径は、最外側のわだちについて 12 メートルを超えてはならない。

- 1、一つ
- 2、二つ
- 3、三つ
- 4、四つ

問43. 自動車の保安基準に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークをつけなさい。

1. 空気入りゴムタイヤの滑り止めのために施されている溝（ウエア・インジケータの部分等を除く）の深さは1.6mm以上でなければならない。
2. 車両総重量 5 トン以上の貨物の運送の用に供する普通自動車の後面には後部反射器のほか、大型後部反射器を備えなければならない。
3. 自動車の前面、側面ガラスはフィルムが貼り付けられた場合、透明で可視光線の透過率は70%以上なければならない。
4. 方向指示器は毎分60回以上120回以下の一定の周期で点滅するものでなければならない。

問44. 事業用貨物自動車の点検設備に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び解答用紙の該当する欄にマークをつけなさい。

1. 運行開始前の日常点検の結果により、運行の可否を決定するのは整備管理者である。
2. 日常点検は、1日1回、運行の開始前に行わなければならない。
3. 定期点検整備は、3か月ごと、6か月ごとの2種類がある。
4. 点検整備記録簿の保存期間は、1年間である。

【○×正誤式問題】

次の問 45 から問 60 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークをつけなさい。

- 問45. 道路運送車両法で定める自動車は、普通自動車、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車の5種類である。
- 問46. タイヤ交換をしたときは、初期なじみのため、タイヤ交換後50～100キロメートルを目安にナットの増し締めを実施するとよい。
- 問47. 自動車の後面には、夜間にその後方150mの距離から走行用前照灯で照射した場合にその反射光を照射位置から確認できる赤色の後部反射器を備えなければならない。
- 問48. 自動車の前照灯の照射範囲はすれ違い用前照灯で前方40mでなければならない。
- 問49. ファン・ベルトの緩み及び損傷の点検は、3か月ごとに行わなければならない。
- 問50. 衝突被害軽減ブレーキとは、レーダー等により先行車との距離を常に検出し、追突の危険性が高まったら、まず警報し、運転者のブレーキ操作を促し、それでもブレーキ操作をせず、追突や追突の可能性が高いと車両が判断した場合において、システムにより自動的にブレーキをかけ、衝突時の速度を低く抑える装置をいう。
- 問51. 後写鏡は、取付部付近の自動車の最外側より突出している部分の最下部が地上1.8m以下のものは、歩行者に接触した場合、衝撃を緩衝できる構造でなければならない。
- 問52. 車両総重量8トン以上または最大積載量5トン以上の貨物の運送の用に供する普通自動車の原動機には、自動車が時速100kmを超えて走行しないよう燃料の供給を調整し、かつ、自動車の速度の制御を円滑に行う事ができるものとして、告示で定める基準に適合する速度抑制装置を備えなければならない。
- 問53. 運行記録計は、24時間以上の継続した時間内における事故発生時の瞬間速度及びすべての2時刻間における走行距離を自動的に記録できる構造でなければならない。

- 問54. タイヤの溝の深さの点検は、毎回の運行前に義務つけられている。
- 問55. 道路運送車両法で定める「車両総重量」とは、車両重量、最大積載量、乗車定員の重量（1人 55kg）の合計をいう。
- 問56. 貨物の運送の用に供する普通自動車の両側面には、堅ろうで、かつ、歩行者、自転車の乗車人員等が後車輪へ巻き込まれることを有効に防止することができる基準に適合する巻込防止装置を備えなければならない。
- 問57. タイヤの亀裂や破損の有無の点検は、走行距離や運行時の状態から判断した適切な時期に行えばよい。
- 問58. バッテリー・ターミナル部分の腐食が著しいものは、ターミナル部分を取り外し、ワイヤーブラシ、サンドペーパーで磨きターミナル部分にグリースを薄く塗ると良い。
- 問59. 自動車（被けん引自動車は除く）には、警音器の警音発生装置の音が、連続するものであり、かつ、音の大きさ及び音色が一定なものである警音器を備えなければならない。
- 問60. 番号灯は、夜間後方 20 メートルの距離から自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は車両番号標の数字等の表示を確認できるものでなければならない。

### Ⅲ 運転常識（20問）

#### 【○×正誤式問題】

次の問 61 から問 80 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークをつけなさい。

- 問61. 信号が変わり前車の発進をうながすとき、知人とのすれ違いを知らせるとき、無理な追越しをするときなどに警音器を鳴らすことができる。
- 問62. 車に乗る前に、車の左右、前後に人がいないか、車の下に子供がいないかを目視により安全確認する必要がある。
- 問63. 13歳未満の子供がひとりで歩いている場合や、通行に支障がある高齢者、身体の障がいのある歩行者などが通行している場合は、一時停止か徐行して、これらの人が安全に通行できるようにしなければならない。
- 問64. 深夜に所属営業所を出発する際に、点呼執行者が出勤していないため、対面点呼を受けられないときは、電話その他の方法で点呼を受けることができる。
- 問65. 駐車する場合、車の右側の道路上に3.5メートル以上の余地がなくなる場所では、駐車禁止の規制がされていない道路でも駐車してはならない。
- 問66. 路面電車の軌道敷内は、深夜なら運行時間外は通行することができる。
- 問67. シートベルトを着用することにより、事故の際の致死率、車外放出を低下させることができ、シートベルトをしていたら死者の大半の人は助かっている。
- 問68. 前車が急停止しても、追突しないだけの車間距離をとる必要があるが、大型、中型貨物自動車は車高（運転席の位置）が高いので、前方視界が良いのでその必要はない。
- 問69. 踏切内では、変速せずに発進したときの低速ギアのまま、歩行者や対向車に注意しながら、落輪しないようにやや中央よりを一気に通過する。

- 問70. ヒヤリ・ハットとは、運転者が運転中に他の自動車等と衝突又は接触するおそれがあったと認識した状態をいい、1 件の重大な事故が発生する背景には多くのヒヤリ・ハットがあるとされており、このヒヤリ・ハットを調査し減少させていくことは交通事故防止対策に有効な手段となっている。
- 問71. 適性診断は、運転者の運転能力、運転態度及び性格等を客観的に把握し、運転の適性を判定することにより、運転に適さない者を運転者として選任しないようにするためのものであり、ヒューマンエラーによる交通事故の発生を未然に防止するための有効な手段となっている。
- 問72. 運転者は、中型トラックで高速道路を走行中、大地震が発生したのに気づき、トラックを路側帯に停車させ様子を見ていた。この地震により高速道路の通行が困難になったので、運転者は、運行管理者に連絡したうえでエンジンキーを持ってドアロックしてトラックを置いて避難した。
- 問73. 拘束時間は、1 か月について 293 時間を超えないものとする。ただ、労使協定があるときは、1 年のうち 6 か月までは、1 年間についての拘束時間が 3516 時間を超えない範囲内において、320 時間まで延長することができる。
- 問74. カーブを走行する際の遠心力は、速度が 2 倍になれば 4 倍に増え、カーブの半径が小さいほど遠心力は大きくなる。
- 問75. 貨物自動車の荷物の積載を多く載せ重くなっても、ドラムブレーキ性能が向上しているので、積載重量によって停止距離が長くなることはない。
- 問76. 車が物にぶつかるときの衝撃力は、速度と重量に応じて大きくなり、速度が 2 倍になれば衝撃力は 2 倍になる。
- 問77. 自動車の所有者は、住所など自動車の使用の本拠の位置から 1 キロメートル以内の、道路以外の場所に保管場所を確保しなければならない。
- 問78. 夜間走行中、自車のライトと対向車のライトで、道路中央付近の歩行者などが見えにくくなる現象を蒸発現象という。
- 問79. 長い下り坂でフット・ブレーキを使い過ぎると、ブレーキ・ライニングなどが摩

擦で過熱し、ブレーキ液内で気泡が発生します。これによりブレーキの効が悪くなることをフェード現象という。

問80. この荷扱い指示マークは、壊れものであることを示している。



# 2023年度 北海道地区トラックドライバー・コンテスト 学科競技解答

## I.法規

	4肢択一式
問1	1
問2	3
問3	3
問4	1

	正誤式
問5	×
問6	×
問7	○
問8	×
問9	×
問10	○
問11	○
問12	×
問13	○
問14	○

	正誤式
問15	○
問16	×
問17	○
問18	○
問19	×
問20	×
問21	×
問22	×
問23	×
問24	○

	正誤式
問25	○
問26	×
問27	×
問28	×
問29	×
問30	○
問31	○
問32	○
問33	×
問34	○

	正誤式
問35	×
問36	○
問37	×
問38	○
問39	×
問40	○

## II.構造機能

	4肢択一式
問41	3
問42	3
問43	2
問44	3

	正誤式
問45	○
問46	○
問47	○
問48	○
問49	×
問50	○
問51	○
問52	×
問53	×
問54	×

	正誤式
問55	○
問56	○
問57	×
問58	○
問59	○
問60	○

## III.運転常識

	正誤式
問61	×
問62	○
問63	○
問64	×
問65	○
問66	×
問67	○
問68	×
問69	○
問70	○

	正誤式
問71	×
問72	×
問73	○
問74	○
問75	×
問76	×
問77	×
問78	○
問79	×
問80	×